



碧南ロータリークラブ週報

第3139回例会 令和7年9月3日(水)

- 会長 黒田 泰弘
- 幹事 永坂 誠司
- 会場監督(SAA) 長田 一希

2025-2026 年度
国際ロータリー会長メッセージ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
ホームページ: <https://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- 会報委員 杉浦邦彦・長田康弘・杉浦秀延

**UNITE
FOR
GOOD**

よいことの
ために
手を取りあおう

● 斉 唱

国歌「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

● 四つのテスト唱和

● 本日のお弁当

大正館

● 本日のお客様

碧南市スポーツ少年団 本部長 伴野義雄様

碧南市スカウト育成連絡協議会 碧南第1団 団委員長 小島壮持様

会 長 挨 拶

失礼致します。

突然ですけど、「我が碧南 RC の 50 周年記念の時の寄贈品は何でしたか？」と聞かれ、パッと思い浮かびますでしょうか？正解は碧南市藤井達吉現代美術館に寄贈されました神戸峰男

(かんべみねお) 先生作の藤井達吉翁像です。その碧南市藤井達吉現代美術館では、毎回見応えのある企画がなされまして、遠方からも大勢のお客さんにお越しいただいておりますが、先日、観覧者 90 万人目として春日井市からお越しのご家族 2 人が、認定書と記念品を受け取られていました。

さて、8 月末まで開催されていまして「橋口五葉のデザイン世界」は皆様ご覧いただけましたでしょうか？私にとってはため息の出るような逸品の数々で、本当に楽しく拝見をさせていただきました。終わりに係の方が「通常展も入れ替えをしていますので、どうぞご覧ください。」という案内がありましたので、拝見しましたところ、なんとこのような藤井達吉翁のお



黒田泰弘会長

姉さんの篠（すず）作の素晴らしい屏風が目に残りました。

これを見た瞬間、我が碧南 RC のメンバーであられました長田昌昇さんを思い浮かべました。長田先輩は藤井達吉翁と篠さんをはじめとする姉妹が手掛けた布作品と諏訪蘇山の香炉に晩年、大変興味を持たれていました。

下戸の私は長田先輩より夜の誘いはなかったんですが、お昼のランチには時々お誘いを受け、そこでは藤井達吉翁と姉妹の布作品、初代から 4 代までの諏訪蘇山の香炉を全てゲットするための作戦会議をしていました。そして、その使命の果たし役が私でした。私は探した品が万一手元に残っても良いように、私好みの作品とリーズナブルな価格の物だけを購入し、お見せしました。結果は全て長田先輩がお買い上げになりました。

まず、篠さんについてですが、藤井達吉翁の 3 歳年上の姉で 1878 年（明治 11 年）生まれ。未婚でその生涯を藤井達吉翁と共に過ごしており、藤井達吉翁の死後の翌年、1965 年（昭和 40 年）に亡くなりました。工芸作品の展覧会において、初出品は 1915 年（大正 4 年）で、1934 年（昭和 9 年）の第 15 回閉展まで 20 年にわたり、他の公募展も含め、ほぼ途切れることなく出品を続け、入選を果たしていました。出品作品は屏風、壁掛け等、平面作品であり、技法は刺繍を主とし、「藁縷（ろうけち）」という手法も手掛けていました。藁縷染めは溶かした蠟を筆で生地に塗ることで、その部分が染まらなくなる技法です。

篠さんは三姉妹であり、三姉妹のうち上の姉の桑子（くわこ）さんは篠さん同様の手法の作品でしたが、下の妹の房子（ふさこ）さんは金工技法の立体作品を多く制作されていたそうです。

布作品はなかなか市場に出回らないので、長田先輩がお買い上げされました布作品は、私が見つけた桐箱入りのお財布 1 点のみです。これは私が所有していますお懐紙入れで、長田先輩にお渡しする予定でしたが、ご子息の一希君に見せてもいらないと言われそうでしたので、この場が初公開となっています。

それともう一方の諏訪蘇山についてですけど、中国政治の元から明時代の龍泉窯（りゅうせんよう）で作られたものは釉色（ゆうしょく）も美しく、砧青磁（きぬたせいじ）と呼ばれ、最上品として知られていますが、その砧青磁を探求し、数々の名品を手掛けてきたのが初代諏訪蘇山です。

その中でも、長田先輩は蘇山の得意手である青磁袴腰三足香炉（せいじはかまごしみつあしこうろ）を好まれていました。その香炉がこちらですが、長田邸にお邪魔させていただいた時に撮影させていただきました。その節はありがとうございました。

初代諏訪蘇山は 1851 年（嘉永 4 年）に石川県金沢市で生まれ、1922 年（大正 11 年）にお亡くなりになりました。一時期、大病を患い蘇生したことにより、号を「蘇山」とされました。2 代目は 1890 年（明治 23 年）から 1977 年（昭和 52 年）、3 代目は 1932 年（昭和 7 年）から 2005 年（平成 17 年）、4 代目は 1970 年（昭和 45 年）に 3 代諏訪蘇山の三女として生まれました。

長田先輩が集めた諏訪蘇山を飾る専用ケースを知り合いのアンティークショップに作らしましたが、納めさせていただいた時のお写真がこちらです。長田先輩がお亡くなりになられて、10 月でちょうど 10 年の節目となりますので、少しだけお話しさせていただきました。

私も長田先輩の心意気を引き継いで、これらを集めると言いたいのですが、終活の時期に入りましたのでそれはしませんが、骨董店でこれらの品物を発見すると、未だに値段を聞いてしまいます。以上となります。

本日もよろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ ロータリーレート変更のお知らせが届いております。9 月は 147 円でございます。
- ・ ガバナー月信 9 月号掲載のお知らせが届いております。
- ・ RI2026 台北国際大会推進チームメンバーの出村知佳子様より「台北国際大会 通信 VOL.2 (2025 年 8 月号)」が届いております。
- ・ ロータリー文庫運営委員会より「2024 年度決算報告書・予算書」が届いております。
- ・ 刈谷 RC、高浜 RC、岡崎 RC より 2025-2026 年度クラブ事業計画書が届いております。
- ・ 本日の例会終了後に第 3 回理事会を開催致しますので、役員、理事の皆様はご出席いただきますよう、よろしくお願い致します。



永坂誠司幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 59 名（内出席免除者 14 名の内出席者 12 名）出席者 50 名	
出席対象者 50／57 名	出 席 率 87.72%
欠席者 9 名（病欠者 0 名）	

<ニコボックス>

- 鈴木 泰博君 8月26日、次男夫婦に男の子が生まれました。2人目の孫です。
- 杉浦 勝典君 皆出席記念品、ありがとうございました。今年も頂けるよう頑張ります。
- 山中 寛紀君 先週土曜日栄で、「ど真ん中祭り」開催されていることも知らず、うっかりデパートに買い物に行った帰り、エンゼルパークを出てすぐの信号待ちをしていると歩道をそそくさと渡って行く真白の上下のスーツにストローハットをかぶったダンディーな紳士が目に入りました！！ あれは鈴木直前会長さんだったのでしょいか？！
- 長田 康弘君 } 今月結婚43年お祝いの月です。年を感じる今日この頃です。
- 石川 鋼勇君 } 先日、永坂幹事の素敵なお店で大変お世話になりました。ありがとうございました！
- 山崎 太幹君 }

<親睦活動委員会>

会員誕生日

13日 岡本 明弘君 25日 石川 鋼逸君 30日 竹内 康人君

奥様誕生日

6日 長松 政孝君の奥様 久美子様 15日 長田 和徳君の奥様 真由美様
17日 三木 信幸君の奥様 康江様 21日 竹中 誠君の奥様 みのり様
26日 森田 雅也君の奥様 千恵子様

結婚記念日

2日 梶川 光宏君・久実子様 24年 24日 黒田 昌司君・みゆ子様 46年
26日 山中 寛紀君・恭子様 43年 30日 杉浦 邦彦君・真理子様 24年

クラブフォーラム

「青少年活動の助成金贈呈及び活動報告」

碧南市スポーツ少年団 本部長 伴野義雄様



伴野義雄様

皆様、こんにちは。

スポーツ少年団本部長の伴野でございます。毎年、スポーツ少年団に対して皆様から温かいご支援いただきまして、ありがとうございます。久しぶりにこの場に来させていただきました。ずっと予定が合わなくて、私以外の者がここにお邪魔して、いろいろ喋らせていただいたということを聞いています。今後は出席できると思いますので、よろしくお願い致します。

スポーツ少年団は子供たちがスポーツを楽しむだけでなく、学習活動、野外活動、レクリエーション活動、社会活動を通じて、協調性や創造性を養い、社会のルールや思いやりの心を学ぶことを理念として発足されました。日本では1964年に創設され、碧南市では2001年に西三河支部大会の開催地となったことをきっかけに創設されました。

スポーツ少年団は3歳以上、小学生未満が対象ということで、碧南市におきましては当初6種目27単位団、1,044人が加盟していました。現在は9種目30単位団、1,251人が加盟しているということで、市内の小学生の約20%がスポーツ少年団のいろいろな種目において活動されています。

種目としては、空手道が5団体122人、卓球が1団体44人、サッカーが10団体572人、剣道が2団体22人、野球が6団体216人、新体操が2団体53人、ソフトテニスが1団体19人、陸上が1団体50人、バスケットボールが2団体153人という9種目になっています。

課題としては、指導者不足が挙げられます。高齢化もあり、子供たちを指導できる人材がなかなか集まらない状況は、県内でも共通の悩みとなっています。碧南市スポーツ少年団では、こうした状況に対応するため、次の4つの事業を展開しています。

1. 指導奨励費補助事業

各団体の活動を資金面から支援。

2. 指導者養成事業

スタートコーチ養成講習会や普通救命講習会などを実施。

3. 安全確保推進事業

熱中症や感染症対策として WBGT 計の貸与や補助金の支給を実施。

4. 技術活動推進事業

運動適性テストの開催や活動場所の確保、表彰制度などを通じて子供たちの意欲を高める取り組み。

今後は少子化や中学校部活動の地域移行が進む中で、子供たちが成長期に希望するスポーツを十分に行えなくなる可能性があります。だからこそ、スポーツ少年団は多くの子供たちに活動の場を提供し続けていく必要があります。そのためには指導者の確保や活動資金の支援が欠かせません。これまで碧南 RC の皆様からいただいている助成金も含めて、これからも活動に費やしていきたいと思っています。

来年は愛知県でアジア大会が開催され、碧南市でビーチバレー競技が行われます。地域全体でスポーツへの関心が一層高まることが期待されます。引き続き、スポーツ少年団の活動にご理解とご支援をお願い申し上げます。

本日はどうもありがとうございました。

碧南市スカウト育成連絡協議会

碧南第1団 団委員長 小島壮持様

碧南第1団の団委員長の小島です。よろしくお願いします。

昨年、碧南第1団は創立60周年を迎え、熊野神社で式典を行いました。その際には当クラブの会長さんにも来ていただきまして、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。



小島壮持様

碧南第1団は1964年に中山神社で発団しました。翌年には大きな大会がありましたが、当時はテントもなく、当クラブの会長をはじめ多くの方々に支援をお願いしたところ、「お金は後でやるからテントを買ってこい。」と仰っていただき、3張の新しいテントを用意することができました。私は当時まだ子供でしたが、そのテントを持って大会に参加した思い出があります。ただ、テントの中に敷くシートがなく、隊長が自宅のカーペットを持参し、サイズに合わせて切って使ったことも記憶に残っています。今では考えられないことかもしれませんが、装備も十分ではない時代に隊長や指導者が大変苦勞されていたのだと改めて感じます。

現在、碧南第1団と第2団を合わせて70名余りが所属しており、地域内では比較的大きな団となっています。安城地区には100名規模の団が複数あり、規模としては安城が最大ですが、碧南も人数を確保しつつ活動を続けています。団員募集のために毎年碧南市や学校を通じてチラシを配布していますが、データ送付だけでは成果が得られません。そのため、今もリーダーがコピーした約4,000枚のチラシを幼稚園から中学校まで一人ひとりに直接配布して

います。デジタル時代ではありますが、顔の見える形で届けることの重要性を強く感じています。

子供の数は少子化の影響で減少していますが、それ以上に課題となるのは装備です。団員からの活動費だけではテントなどの購入まで手が回らず、保護者に追加の負担をお願いするのも難しい状況があります。特に母子家庭などの事情もあり、負担を大きくできません。そのため、ロータリークラブやライオンズクラブからのご支援は活動にとって非常に大きな力となっています。本当にありがたく、可能であれば今後さらにご支援をお願いできればと考えています。

先月は約 300 名で萩原町にキャンプに行きましたが、大雨で警報が発令され、テントが流されるほどの緊急事態となりました。現地の寺院に避難することで大事には至りませんでした。自然を相手にするボーイスカウト活動の厳しさを改めて実感しました。とはいえ、子供たちは雨の中でも工夫しながらご飯を炊いたり、プログラムをこなしたりと、むしろ楽しそうに過ごしていました。私が心配する以上に子供たちはたくましく成長していると感じ、大変心強く思います。

最後になりますが、我々のようなリーダーや指導者というのは一般のサラリーマン、自営業者、大学生がやっています。特別な人がやっている訳ではありません。一般の方がボーイスカウトに興味があるということで来られます。1日の簡単な講習会を受けてもらい、触りの部分だけを勉強して帰っていきます。次は新城市にボーイスカウトの野営場がございますので、3泊4日で朝から晩まで勉強してもらいます。それを終わると初めてリーダーの登録ができるということになります。その後もいろいろな勉強会がございますので、リーダーはなかなか時間が取れなくて大変だと思うんですけども、子供たちのために汗をかいているのが現状です。

言いたいことが山ほどありますけれども、時間の関係上、これで終わりにさせていただきます。ありがとうございました。

次回例会案内

令和7年9月17日（水）クラブ協議会・ガバナー補佐訪問

西三河分区ガバナー補佐 倉田英行氏、分区幹事 渡辺伸一氏、
地区スタッフ 鈴木康仁氏